

めぶき東アジアレポート

MEBUKI EAST ASIA REPORT

Shanghai / Hong Kong / Taiwan

2022年12月号

【 香 港 通 信 】 米国利上げが香港に与える影響について	1
【東アジア駐在員コラム】 デジタル生活「ロボットカフェショップ」	3
【 ニューストピックス 】 2022年10月～11月の動き	3
【 めぶきFGアジアネットワークのご紹介 】	4

常陽銀行上海駐在員事務所

上海市長寧区延安西路2201号
上海国際貿易中心1901室
TEL : +86-21-6209-0258
E-mail : joyosh@uninet.org

足利銀行香港駐在員事務所

Suite 1601, 16/F, Tower 2 The Gateway
Harbour City, Tsim Sha Tsui, Kowloon, HK
TEL : +852-2251-9475
E-mai : hongkongrep@ashikagabk.com.hk

本レポートの内容につきましては、当行の信頼し得る先からの情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、信頼性を保証するものではありません。具体的に法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談くださいますようお願いいたします。

発行元：常陽銀行市場国際部



～米国利上げが香港に与える影響について～

～はじめに～

米国では、コロナ禍による需給バランスの乱れやロシア・ウクライナ情勢などを要因に消費者物価が上昇し、インフレ対策として米国FRB（連邦準備理事会）は2022年3月から段階的に政策金利を引き上げています。一方、香港は米ドルペッグ制を採用していることから、米国利上げの影響を大きく受けています。そこで今回は、米国利上げが香港に与える影響についてレポートいたします。なお、本レポートに記載されている内容は2022年11月時点の情報となります。

1. 米ドルペッグ制の概要

米ドルペッグ制とは、固定相場制のひとつで、自国通貨と米ドルの為替レートを一定割合で保つ制度です。香港では、1983年の香港返還交渉時の市場混乱を収束させるために導入され、現在は1米ドル＝7.75～7.85香港ドルの範囲内で為替相場が固定されています。為替相場の固定化により、対米貿易が安定化するというメリットがある一方で、自国香港の景気や物価動向に関らず、為替相場の変動に大きな影響を与える二国間の金利差拡大を抑え込むため、米国と連動した金融政策をとる必要があるというデメリットがあります。

2. 香港の政策金利と為替相場

(1) 香港政策金利の引き上げ

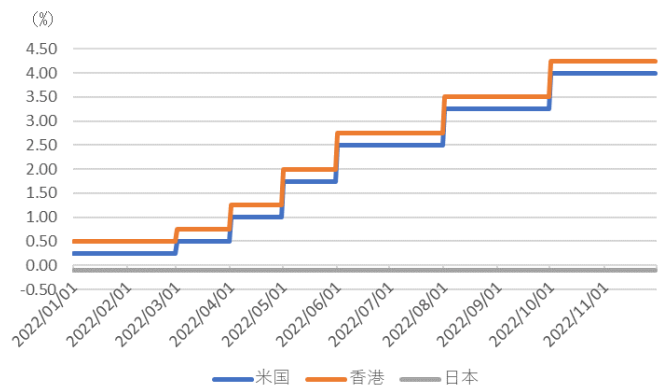
米国FRBは、11月に4会合連続となる0.75%の大規模利上げを実施し、政策金利を3.75～4.00%としました。2022年初頭の政策金利が0.00～0.25%であったことから、異例とも言えるペースで利上げが進んでいます。

香港の通貨当局であるHKMA（香港金融管理局）は、FRBの動きに連動する形で、3月から11月まで合計6回の利上げを実施しました。その結果、香港の政策金利は3月初頭の0.50%から、11月には4.25%まで引き上げられています。

(2) 為替相場

FRBの利上げに伴い、4月の為替相場はペッグ制の下限レートである1米ドル＝7.85香港ドルまで香港ドル安の動きが強まりました。そのため、HKMAは約3年ぶりとなる香港ドル買いの介入を実施し、4月以降も断続的な介入によって1米ドル＝7.84～7.85香港ドルを何とか維持している状況です。

また、対日本円では、香港の政策金利引き上げで日本との金利差が拡大し、香港ドル高円安の動きとなりました。10月には、2000年以降最も高値となる一時1香港ドル＝19.3円を記録するなど、大幅な香港ドル高となりましたが、11月にFRBの利上げ見通しが若干弱まったことで、香港ドル高・円安の動きは一服しています。今後、FRBの利上げ減速の見方が強まることになれば、香港ドル安に転ずる可能性も考えられます。



米国、香港、日本の政策金利比較
 <当所にて作成>



香港ドル/日本円推移
 <当所にて作成>

3. 香港の金融機関の動き

(1) 住宅ローン金利

香港の住宅ローン金利は、一般的にHIBOR（香港銀行間取引金利）の1カ月物がベースとなっています。2022年初めのHIBOR1カ月物は約0.14%でしたが、利上げの影響を受けて6月頃から大幅な上昇を見せ始め、11月初めには3.2%まで上昇しました。急激な金利上昇による住宅ローン利用者の減少を防ぐために、HSBCは当初期間固定金利タイプの新商品を打ち出すなど、各金融機関は対策に動いています。

(2) 定期預金金利

HIBORの上昇とともに金融機関の資金調達コストも高まっていることから、香港の各金融機関は相次いで定期預金金利を引き上げ、預金の確保に努めています。

例えばHSBCは、1万香港ドル以上での申込の場合、6カ月物定期は3.9%、12カ月物は4.1%に設定しています。

	3カ月	6カ月	12カ月
HSBC	3.7%	3.9%	4.1%
Standard Chartered	-	3.8%	4.1%
Bank of China (HK)	3.6%	3.8%	4.0%

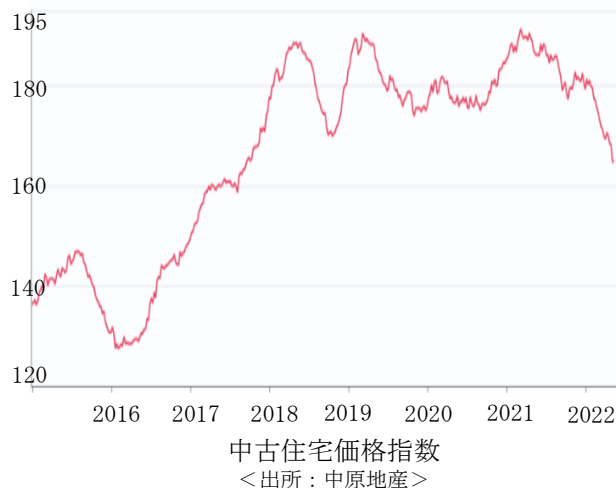
香港の主要な金融機関の定期預金金利
<出所：各銀行のHP>

4. 香港の不動産市場

香港は、2022年初年から始まったコロナ第5波やそれに伴う行動制限の影響が大きく、第3四半期（7～9月）GDPは前年同期比▲4.5%と景気が低迷しています。そのような中での金利上昇は、不動産市場における需要者の購入意欲減退を招いています。

11月初旬の中古物件在庫数は約45,700戸と過去5年で最も高い水準です。また中古住宅価格の指数は10月末に大幅な下げを記録しました。同指数は2021年に過去最高値を更新していたことから、金利上昇が不動産市場に与えた影響は大きなものとなりました。

香港の大手不動産仲介業者によると、金利上昇による住宅販売不振は2023年に入っても継続する見通しのため、不動産業界からは、香港政府に対して減税を求める声などが上がっています。



5. 日系企業の動向や影響

香港に進出している日系企業の多くは、中国や東南アジアなどに工場を持ち、香港法人がアジアのヘッドオフィスとして資金決済の役割を担っています。取扱い通貨も香港ドルや米ドル、人民元、日本円など様々あることから、利上げによる為替変動の影響を大きく受けています。そのため一部の日系企業は、決済通貨の変更やグループ内親子ローンの見直しなどを行い、企業グループ全体の採算最適化を図っています。また、各国の関連企業で発生した余剰資金を香港法人にプールする企業も多いため、金利が上昇している定期預金は、余剰資金の有効な運用手段の一つになっているようです。

～おわりに～

一般的な金融政策として、金利の引き上げは行き過ぎた好景気を抑制するために行われますが、今般の香港の利上げは、景気が低迷している中で米国の金融政策に追随せざるを得ない、米ドルペッグ制の負の局面が如実に表れています。日系企業においても、為替や銀行金利、不動産価格変動など関係する事項が多いため、当所では引き続き香港の金利や為替、経済動向などを注視し、情報発信に努めてまいります。

(足利銀行香港駐在員事務所 山田太郎)

— デジタル生活 — 「ロボットカフェショップ」 —

ちまたで人気の無人カフェスタンドを体験したので、ご紹介します。その名も「ロボットカフェショップ」。スタイリッシュな外観に加え、スマート技術とロボットが融合したカフェショップで、今年の中国国際輸入博覧会にも登場し話題になっています。

その特徴ですが、まず、24時間営業で人手が要らず、夜間でもコーヒーを販売することができます。上海ロックダウンの時は、24時間働く人から大変重宝されたそうです。そして、商品はコーヒー系だけでなく、子供が好きなミルクティーやミルクチョコレート、日本人向けの抹茶等50種類の飲み物が用意されています。

また、端末操作は中国語のみならず、英語、日本語、韓国語にも対応し、説明に従いミルク、温度、濃さ、甘さと氷の量等も好みに合わせて調整できます。簡単な操作だけで1分もかからないうちに美味しい飲み物を楽しめるので、いまや1日平均販売カップ数はリアルチェーン店とほぼ変わらず、沢山のファンが集まっています。ちなみにアメリカンコーヒーは1杯10元（約200円）で、コンビニの店頭コーヒーと同じ水準です。すでに上海市の政府機関、オフィスビル、病院、地下鉄駅など50件あまりが設置されていますので、機会があればぜひ体験してみてください。

（常陽銀行上海駐在員事務所 現地スタッフ 続蘇蘇）



< 商業施設に置いてあるカフェショップ >

ニューストピックス

- ・住宅ローン金利下落続く、10月は平均4.12%（10/22）
- ・人民銀がLPR据え置き、2カ月連続（10/22）
- ・中国自動車市場で米国系が苦戦、独・日系との差は鮮明（10/24）
- ・人民元、08年1月以来の対ドル安値＝上海為替市場（10/24）
- ・中国GDP、7～9月期3.9%増＝目標達成は困難（10/24）
- ・半導体業界の時価総額トップ100、中国が最多42社（10/27）
- ・中国企業のDX加速、「投資拡大」6割（10/31）
- ・100都市の住宅価格、4カ月連続で下落（11/2）
- ・9月電動車販売は世界104万台、中国比率61%に（11/4）
- ・NEV小売販売率3割超え、燃料車代替が加速（11/4）
- ・石油製品価格、2回連続引き上げ（11/8）
- ・JALの成田-上海線、10日から往復再開（11/9）
- ・北京モーターショー中止、国内感染者増加で（11/11）
- ・水際対策を緩和、集中隔離5日に短縮（11/11）
- ・中国製電気ストーブ輸出急増、エネルギー危機の欧州で特需（11/11）
- ・中国アリババ、「独身の日」セール取引額公表せず＝新型コロナや景気減速で逆風（11/14）
- ・新規感染、4月以来の2万人超え＝防疫緩和めぐり各地で混乱も（11/16）

（出所 時事速報・NNA・亜州ビジネス）

めぶきFGアジアネットワークのご紹介

お客様の海外進出をサポートするため、様々な機関や外国銀行と業務提携を結び、支援体制の強化を進めています。

提携先	常陽	足利	主な業務内容
中国銀行（中国）	●	●	中国国内情報の提供および各種金融サービスの提供
交通銀行（中国）	●		
中国信託商業銀行（台湾）	●		台湾情報の提供および各種金融サービスの提供
カシコン銀行（タイ）	●	●	タイ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バンコック銀行（タイ）	●		
バンクネガラインドネシア（インドネシア）	●		インドネシア国内情報の提供および各種金融サービスの提供
CIMBニアガ銀行（インドネシア）		●	
ヴィエティンバンク（ベトナム）	●		ベトナム国内情報の提供および各種金融サービスの提供
ベトコム銀行（ベトナム）	●	●	
ベトナム外国投資庁（ベトナム）	●		ベトナム関連セミナーの開催協力 ベトナム進出に関する各種支援、投資関連情報の提供
BDOユニバンク（フィリピン）	●		フィリピン国内情報の提供および各種金融サービスの提供
メトロポリタン銀行（フィリピン）		●	
インドステイト銀行（インド）	●	●	インド国内情報の提供および各種金融サービスの提供
パナメックス（メキシコ）	●	●	メキシコ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
アグアスカリエンテス州政府ほか（メキシコ）	●	●	メキシコに関する現地市場調査 投資情報の提供
日本貿易振興機構（JETRO）	●	●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力機構（JICA）	●	●	途上国での海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力銀行（JBIC）	●		海外展開支援融資の提供
日本貿易保険（NEXI）	●	●	輸出取引を行う際の海外取引リスクに備える各種貿易保険の提供
中小企業基盤整備機構		●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
東京海上日動火災保険	●	●	海外リスク情報等の提供 リスクマネジメントコンサルティングサービスの提供 各種損害保険の提供
損害保険ジャパン	●	●	
三井住友海上火災保険	●	●	
セコム	●		海外での安全システム・防犯危機商品の提供 海外セキュリティーサービスの提供
総合警備保障	●		

常陽銀行 シンガポール駐在員事務所	10 Collyer Quay, #09-07A, Ocean Financial Centre, Singapore, 049315 TEL:+65-6225-6543
常陽銀行ハノイ駐在員事務所	5th Floor, Sun Red River, 23 Phan Chu Trinh Street, Hoan Kiem District, Hanoi, Vietnam TEL:+84-24-3218-1668
常陽銀行上海駐在員事務所	上海市延安西路2201号 上海国際貿易中心1901室 TEL:+86-21-6209-0258
常陽銀行 ニューヨーク駐在員事務所	712 Fifth Avenue, 8th Floor, New York, NY 10019 TEL:+1-347-686-8420
足利銀行香港駐在員事務所	Suite 1601, 16th Floor, Tower 2, The Gateway, Harbour City, Kowloon, Hong Kong TEL:+852-2251-9475
足利銀行バンコク駐在員事務所	689, Bhiraj Tower at Emquartier, 27th Floor, Room No.2714, Sukhumvit Road, Klongton-nue, Wattana, Bangkok, Thailand 10110 TEL:+66-2-261-2852

